

# Cubase AI インストラクションガイド for THR-II

## はじめに

---

このマニュアルでは、THR-IIをお買い上げのお客様がCubase AIを使ってギターの録音ができるまでを説明します。

### 【重要】

**Cubase AIを使うには、ライセンスを取得する必要があります。**

以下1～4の手順に沿って、ライセンスを取得します。

- 1 ユーザー登録
- 2 アクティベーションコードの入手
- 3 Cubase AIのダウンロード
- 4 Cubase AIのライセンスの有効化(アクティベーション)

このマニュアルではライセンスの取得の概要だけを説明します。このマニュアルの説明と異なる情報が画面に表示された場合は、SteinbergのWebサイトや公式FAQ、公式の動画などで最新の情報を確認してください。

# ライセンス取得概要

---

## 1. ユーザー登録

Cubase AIのライセンスを取得するには、ユーザー登録が必要です。SteinbergにはMySteinbergというユーザー登録のしくみがあります。以下のURLからMySteinbergにアクセスし、ユーザー登録を完了してください。

MySteinberg

<https://japan.steinberg.net/jp/mysteinberg.html>

## 2. アクティベーションコードの入手

アクティベーションコードを入手して、ライセンスを有効にします。THR-IIに付属のリーフレット「Cubase AI Download Information」に記載のDownload Access Codeを、MySteinberg上に入力することでアクティベーションコードを入手できます。MySteinbergにログインし、アクティベーションコードを入手してください。

## 3. Cubase AIのダウンロード

Cubase AIのダウンロードには、Steinberg Download Assistantを使います。Steinberg Download Assistantはインストーラーをダウンロードするためのソフトウェアです。Steinberg Download AssistantはMySteinberg上で入手できます\*。Steinberg Download Assistant上には、複数のSteinberg製品が表示されます。Cubase AIを指定して、インストーラーをダウンロードしてください。ダウンロードしたインストーラーでCubase AIをインストールしてください。

\* 2020年10月現在は、アクティベーションコードの入手と同じ画面で入手できます。

## 4. Cubase AIのライセンスの有効化(アクティベーション)

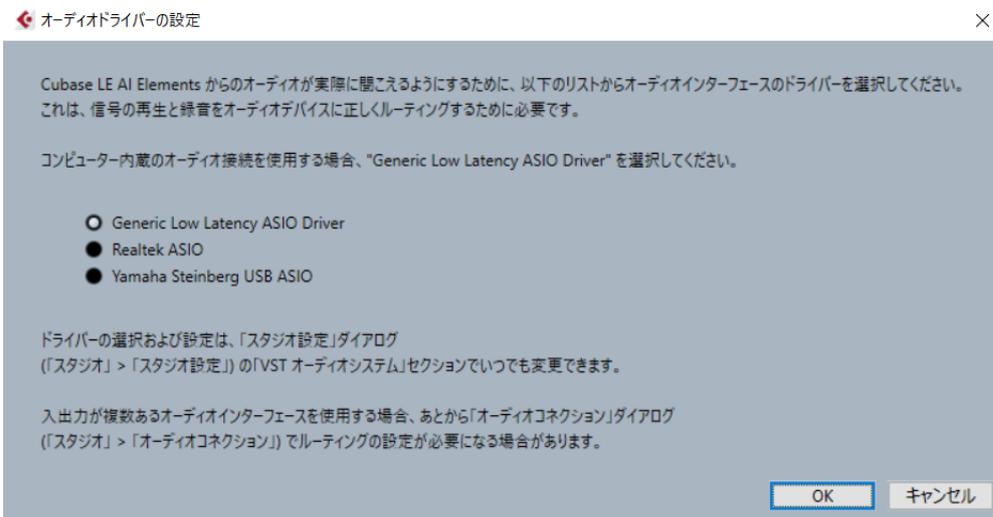
Cubase AIのライセンスを有効化(アクティベーション)するには、eLicenser Control Centerを使います。eLicenser Control Centerはライセンスを管理するためのソフトウェアです。Cubase AIをインストールすると、eLicenser Control Centerもインストールされます。eLicenser Control Center上で、アクティベーションコードを入力することで、Cubase AIのライセンスを有効にします。eLicenser Control Centerを起動して、アクティベーションコードを入力してください。

# Cubase AIでギターを録音する

1. THR-IIとコンピューターをUSBケーブルで接続し、電源を入れます。
2. Cubase AIのショートカットアイコンをダブルクリック\*します。

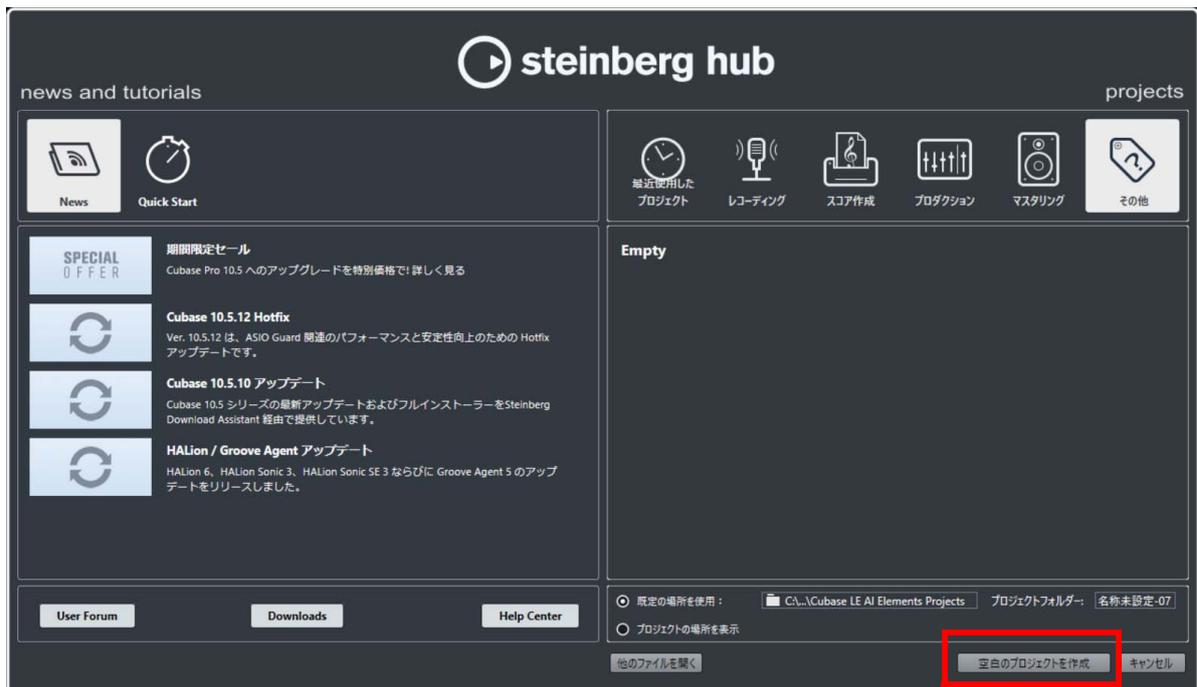


\* 起動時にオーディオドライバー設定が表示された場合は、「Generic Low Latency ASIO Driver」(Macの場合、接続したTHR-IIシリーズの名前)にチェックし、「OK」をクリックします。

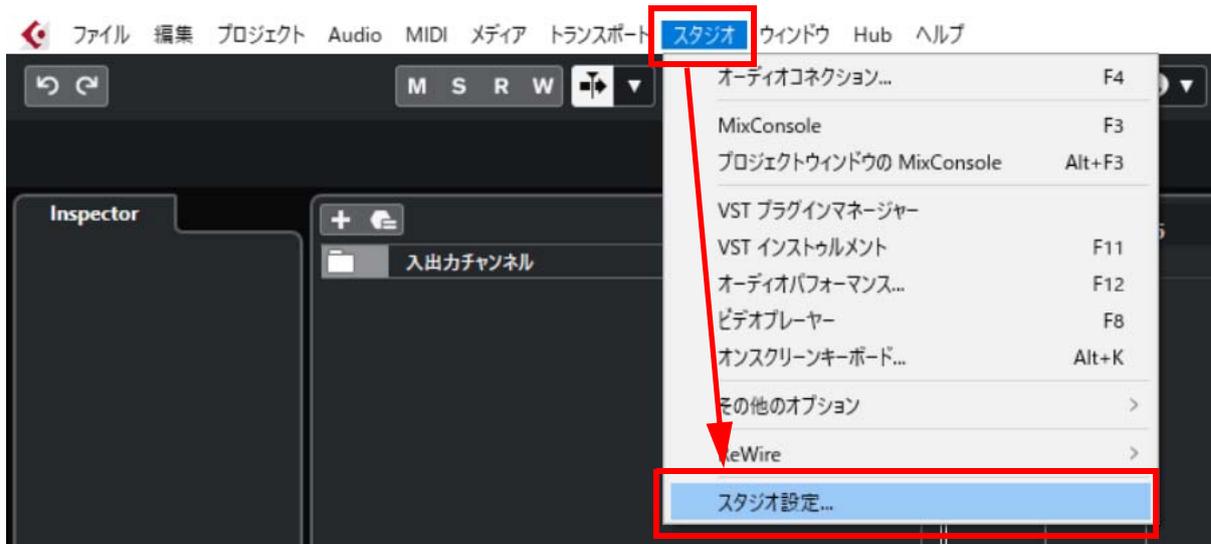


「steinberg hub」画面が開きます。

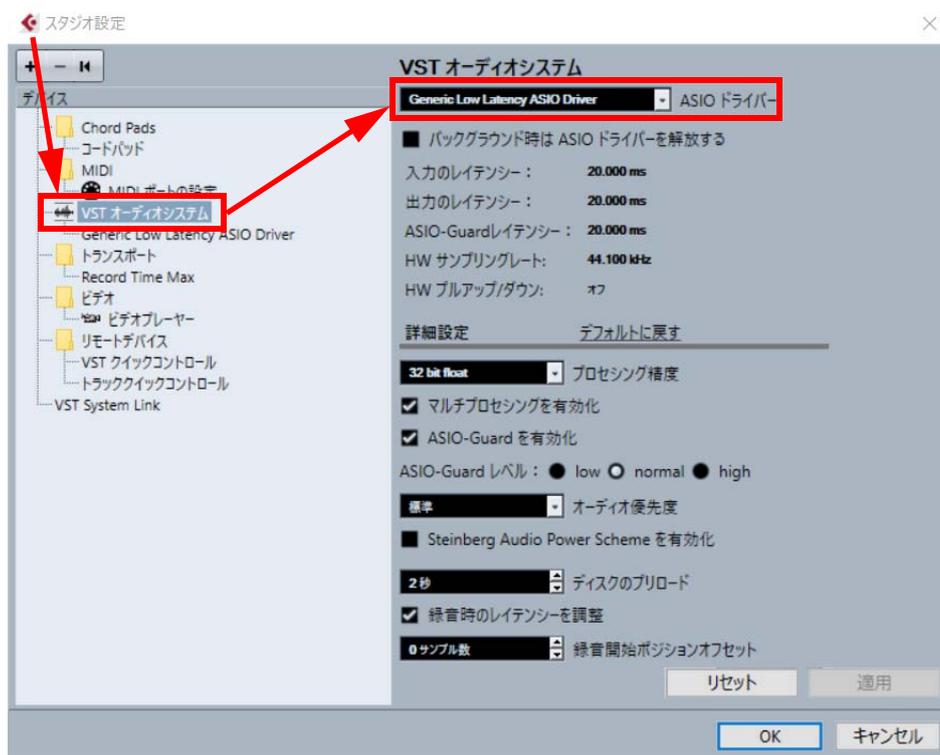
3. 「空白のプロジェクトを作成」をクリックします。  
空白のプロジェクトが起動します。



4. Cubase AIのメニューバー「スタジオ」から「スタジオ設定」をクリックします。  
スタジオ設定画面が開きます。



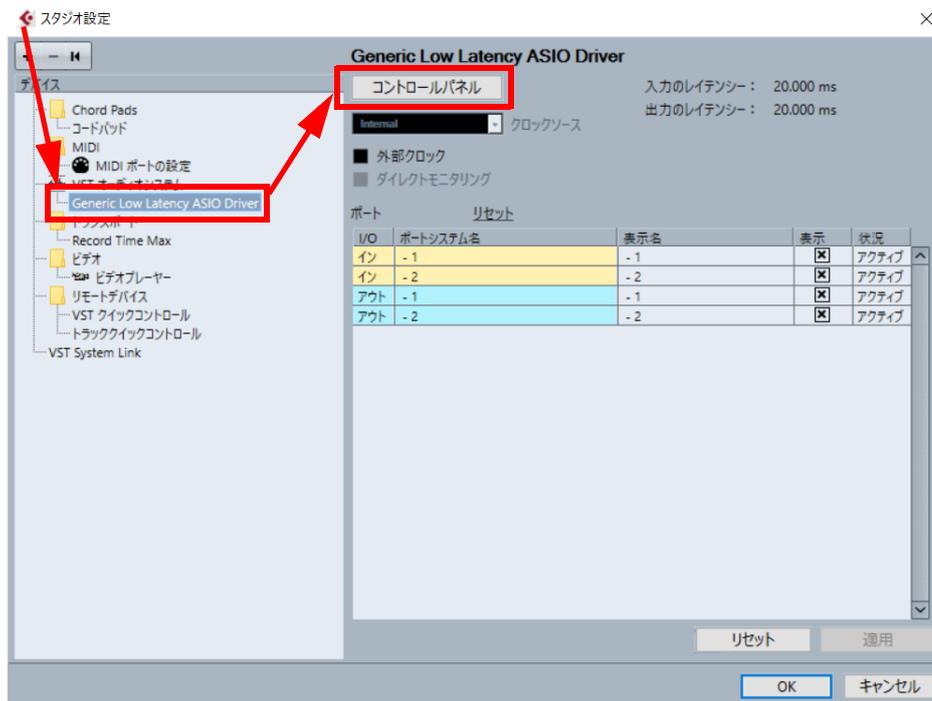
5. 画面左側「VSTオーディオシステム」を選択し、画面右上の「ASIOドライバー」欄が「Generic Low Latency ASIO Driver\*」に設定されていることを確認します。



- \* Macの場合接続したTHR-IIシリーズの名前「機器名称」を割り当てて画面を閉じます。そして手順 [7] に進みます。
- \* 「ASIOドライバー」欄が「Generic Low Latency ASIO Driver」に設定されていない場合は、下向き▼をクリックしてドライバーを切り替えます。

6. 「Generic Low Latency ASIO Driver」 を選択し、画面右上の「コントロールパネル」 をクリックします。

「共通低レイテンシー ASIO ドライバ」 画面が開きます。



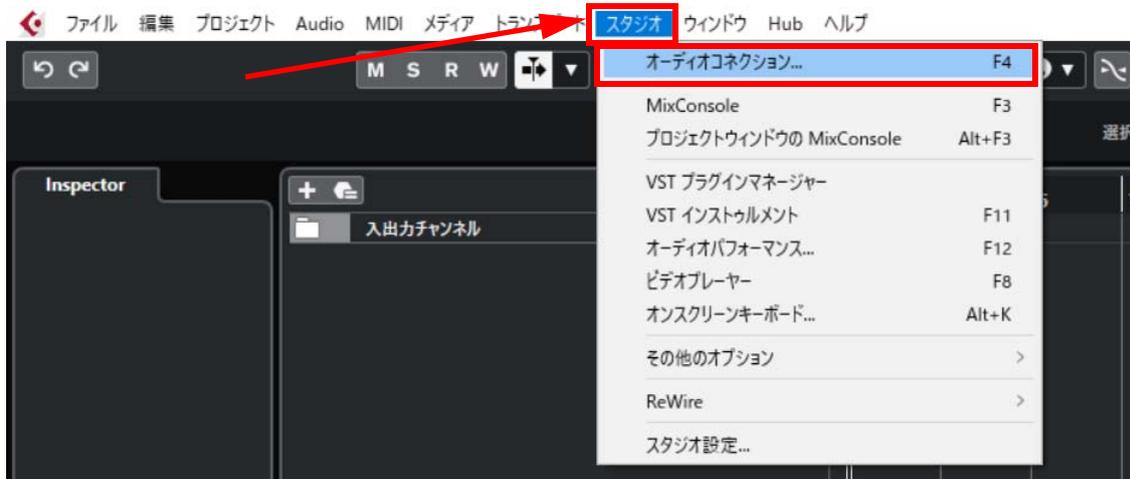
7. 「入力ポート」「出力ポート」 共に、接続したTHR-IIシリーズの名前\*にのみチェックを入れて「OK」 をクリックします。



\* その他のポート名が表示されてチェックが入っている場合は、チェックを外します。

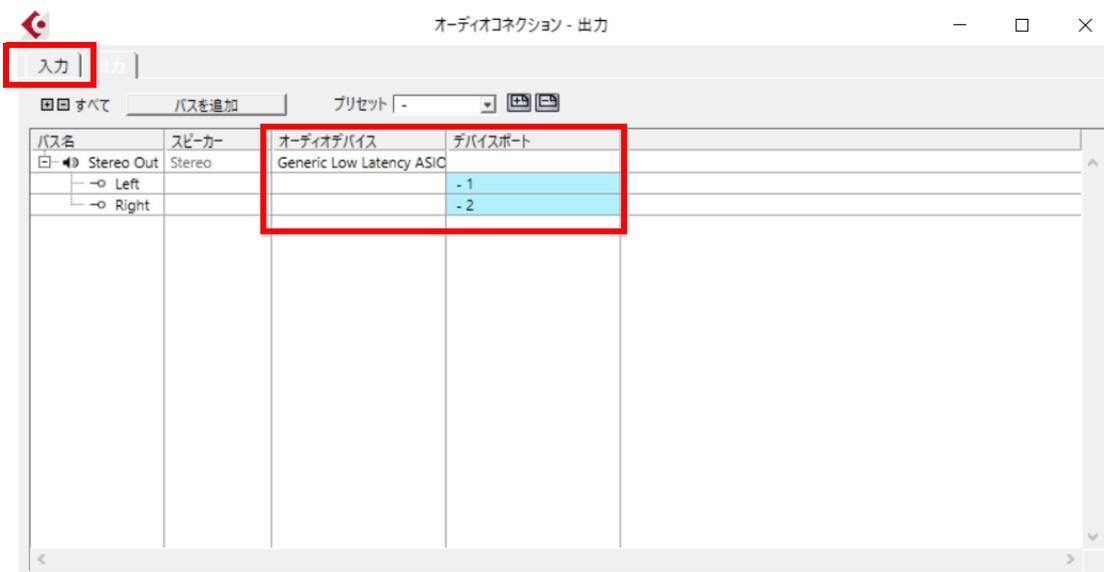
8. Cubase AIのメニューバー「スタジオ」から「オーディオコネクション」をクリックします。

「オーディオコネクション」画面が開きます。



9.

- 9-1. 画面上部「入力」タブをクリックして、オーディオデバイス欄に Generic Low Latency ASIO Driverが設定されていることと、デバイスポート欄に -1 / -2 (Macの場合、Front Left/Right)が割り当てられていることを確認します。未接続と表示されている場合は、「未接続」をクリックして、デバイスポートを割り当てます。



- 9-2. 「出力」タブをクリックして、「入力」同様にポートが割り当てられていることを確認します。未接続と表示されている場合は、「未接続」をクリックして、デバイスポートを割り当てます。

10. Cubase AIのメニューバー「プロジェクト」から「トラックを追加」を選択し、「Audio」をクリックします。  
「トラックを追加」画面が開きます。

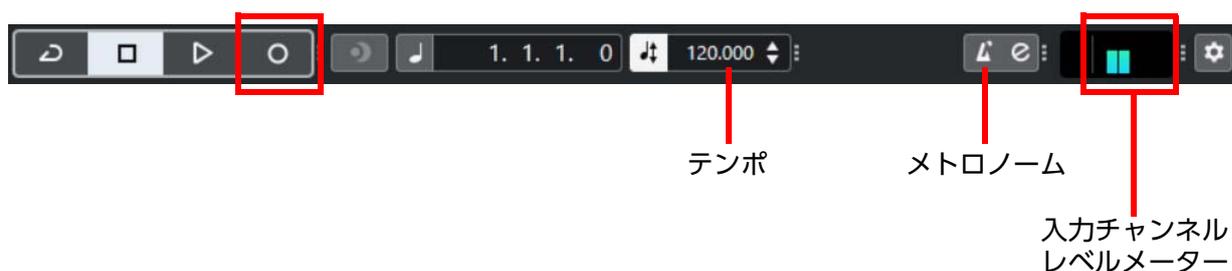


11. 構成を「Mono」に変更して「トラックを追加」ボタンをクリックします。  
オーディオトラックが作成されます。



12. THR-IIにギターを接続し[AMP]、[GAIN]、[MASTER]、[GUITAR]、[VOLUME]等のノブで音を調整します。

13. ギターを演奏し、Cubase AI画面下に配置されているトランスポートパネル上の入力チャンネルレベルメーターに反応\*があるか確認します。



\* 入力チャンネルレベルメーターの上部が赤く表示されないことを確認します。赤く表示された場合は、手順12に戻り音量を小さくします。

14. 録音(●)ボタン\*を押します。

\* メトロノームのオン/オフ、テンポ設定(ダブルクリック後、直接数値を入力)は必要に応じて設定します。

録音が完了したら、停止(■)ボタンを押します。波形が表示されます。波形が確認できたら再生(▶)ボタンを押して、録音した音がTHR-IIから聞こえるか確認します。

